

平成31年度

## 学校経営方針

### 1 学校経営方針

「全ての生徒が誇りを持って生活・学習する活力ある学校」を目指し、校長のリーダーシップの下、全職員が一丸となって、保護者・地域・関係機関と連携しながら、「知・徳・体」の調和のとれた教育活動を推進していく。

### 2 教育目標

**強い意志と自律，友愛の精神を培い，健康で創造性に富む生徒の育成**

### 3 目指す六郷中の姿

自 律	友 愛	健 康	創 造
【生徒像】 正しく判断し，行動できる生徒	【生徒像】 友を思い，仲良く生活できる生徒	【生徒像】 命を大切に，心身を鍛える生徒	【生徒像】 自ら学び，全力を尽くす生徒
【教師像】 愛情を持ち，時に優しく時に厳しく毅然とした指導がができる教師	【教師像】 生徒の声に耳を傾け，共感的に理解し，温かな支援がができる教師	【教師像】 生徒の安全・安心を最優先に考え，対応できる教師	【教師像】 研修に励み，主体的・協働的な深い学びを保証できる教師
【学校像】 礼儀正しく，あいさつが飛び交う明るく活気のある学校	【学校像】 互いに認め合い，支え合い，助け合うことができる学校	【学校像】 生徒の安全・安心が確保される学校	【学校像】 学ぶことが楽しい・わかる授業が展開される学校

### 4 本年度の重点目標（目指す六郷中の姿に近づくために生徒に育むべき力）

- (1) 【自律】 規範意識を身に付け，正しく「自分をコントロールする力」の育成
- (2) 【友愛】 人との絆を大切に，望ましい人間関係をつくる「人と関わる力」の育成
- (3) 【健康】 心と体をしなやかに鍛え，「健やかに生活する力」の育成
- (4) 【創造】 楽しく学び合い，創造性につながる「自ら学び考える力」の育成

※ 学校教育目標は「知・徳・体」全てに渡る学校教育全体の理想的な基盤を掲げたものである。それらの理想像として「目指す六郷中の姿」を明示している。それらの理想や理想像の下，重点目標を設定する。重点目標は，生徒の実態，課題，地域の特性を踏まえ，短・中期的な視点から設定されるものであり，教育活動の実践や改善を目指す項目や内容を示すものである。

### 5 重点目標達成のための本年度の具体的方策

- (1) 【自律】 「自分をコントロールする力」の育成
  - ・社会の一員としての「正しい規範意識」を育む積極的生徒指導
  - ・あいさつ，授業規律，時間厳守等，学校生活でのルールへの遵守徹底
  - ・生徒自ら課題を解決する生徒会を中心とした自治活動の推進
  - ・全校集会，学年集会時の整列，参加態度等の全体指導
  - ・進路達成に向け，計画的な取組を支援する進路指導の充実
- (2) 【友愛】 「人と関わる力」の育成 → 協働型学校評価の到達目標
  - ・生命と人格を尊重する「豊かな人間性」を育む道徳授業の内容と質の向上
  - ・一体感・達成感を感じさせる文化的・体育的・旅行的行事の計画的指導

- ・全校体制で組織的に取り組むいじめ防止，不登校対策の推進
- ・あいさつ運動，ボランティア活動，地域連携行事への参加
- ・地域防災訓練や職場体験を通し，地域に働く人々の社会貢献力・郷土愛への気づき

(3) 【健康】 「健やかに生活する力」の育成

- ・保健体育や学校給食と連携した「健康でたくましい心と体」を育む健康教育の推進
- ・文武両道の精神，体力向上を目指した主体的に取り組む部活動の推進
- ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- ・生徒の様々な心の問題を解消するための教育相談の充実
- ・震災にともなう生徒の心のケアの継続

(4) 【創造】 「自ら学び考える力」の育成

- ・主体的，協働的な深い学びに基づく「確かな学力」の育む授業力向上の研究推進
- ・協働して課題解決する姿勢の習得をねらいとした「学び合い」の授業実践
- ・獲得した確かな学力を，学校生活に生かす学級活動，学校行事の工夫
- ・少人数指導等による，個に応じた，きめ細やかな学習指導
- ・基礎学力定着のための定期考査前の学習相談，朝学習の継続

## 6 協働型学校評価

仙台市で平成22年度から始まった協働型学校評価とは，学校・家庭・地域の三者が，それぞれの立場から，生徒のよりよい姿（目指すべき生徒の具体的な姿）を実現するために改善活動を行うものである。協働型学校評価の到達目標は，学校の重点目標の中から，学校が家庭・地域と協力して取り組んでこそ，より教育効果が期待できるものに焦点をあて設定しする。六郷中では，H30,H31年度については，学校の重点目標（2）の「人とのかかわりを大切にし，望ましい人間関係をつくる『人と関わる力』の育成」を協働型学校評価の到達目標としている。到達目標を踏まえ，協働型学校評価の重点目標（目指すべき生徒の具体的な姿）をH31年度は以下のように定め，改善活動に取り組むこととする。

協働型学校評価の到達目標		
人とのかかわりを大切にし，望ましい人間関係をつくる「人と関わる力」の育成		
協働型学校評価の重点目標（具体的な姿）		
H30年度 ○ 相手の状況に応じて，心のこもったあいさつや声かけができる生徒の育成 ○ 人とのかかわりを意識し，積極的にボランティア活動に参加する生徒の育成		
H31年度 ○ 相手を思いやり，心のこもったあいさつや言葉かけができる生徒の育成 ○ 感謝の気持ちを持ちながら，主体的にボランティア活動を行う生徒の育成		
重点目標実現のための三者の改善活動		
学校では	家庭では	地域では
○教師自らが，積極的に生徒・保護者・地域の方へあいさつ，言葉かけを行う ○生徒のあいさつの励行について学級や集会の場で褒める ○あいさつ運動やアルカス活動への参加生徒の割合を高める ○授業で話し合い，学び合いの活動場を増やす	○家庭で日常のあいさつを習慣化する。 ○家族の一員としての役割を与え，継続して取りこませる ○コミュニケーションの場として，一緒に食事をするように努める。 ○家族で地域行事に参加するよう心がける	○交通安全指導等の見守り活動で，地域の子供たちに声掛けをする。 ○地域防災訓練等，学校と地域の連携行事において，子どもたちと一緒に活動する ○学区民運動会，夏祭り等の地域行事で子どもたちとのつながりを深める